

# 平昌会場 試行錯誤



## 不足する雪…保存試す 「風」影響?…好記録連発

2018年平昌五輪の平昌大会が開かれて、雪上競技会場の平昌と水鏡技会場の江陵。各種目の施設では、本番に向けての工事が試行錯誤が続いている。

アルペン技術系種目が行われる平昌リソート。今月上旬、標高1458メートルの山頂付近から伸びる五輪コースに天然雪はあまりなかった。昨季は雪不足のため、同リソートにある一部のコースを閉鎖。来年の五輪期間中は70台の人工降雪機で五輪コースを整備する。

実は、平昌は温暖化に悩む。韓国気象庁によると、五輪期間に当たる2月9・25日に、1日87センチの大雪が積もった年もあれば、通常積雪量が1センチ未満だった年もある。同期間の通常積雪量は1981年から2010年までの平均で41.3センチあったが、過去10年は同33.5センチ。昨年7センチ、5日間しか降らなかった。平昌リソートで28年間働く金明来さん(50)は「積雪は年々減っている」と嘆く。そのため、全ての雪上競技会場は人工雪がメインになる。

五輪組織委員会は来年の五輪期間中、東京ドームの容積の2倍弱となる210万立方メートルの雪が必要



平昌リソートでは人工降雪機でコースを整備する(韓国・平昌)

部にくぼみがあり、選手からは「気になる」との声が漏れた。一方、新設されたスピードスケートの江陵オーバルでは好記録が連発。このオーバルは好記録が連発。江陵オーバルでは好記録が連発。江陵オーバルでは好記録が連発。

スピードスケート 高木美帆  
 表彰式を終えたスピードスケート女子の高木美帆(22)日本代表は、笑顔はなかった。12日まで韓国・江陵であった世界距離別選手権。得意の1500メートルで、日本勢14年ぶりの表彰台となる銅メダルを獲得した。それでも「順位は縮まったかも知れないけど、トップとは1秒の差。もつとむしやらに追いかけて」と。理想はさらに高い。

「水」の効果もありそう。ミネラル成分などを除去した純度の高い「水」を使用。大会前に水を張った時、ちりやほりや混じらないようにするため、会場内の工事から4日間中断した。水の表面を滑らかにする整水車も、従来のゴムではなす布で整水する最新モデルを使う。

日本スケート連盟の湯田淳スピート強化部長は「選手からネガティブな反応はない。ただ、本番では(リンク状況が)ガラリと変わる可能性がある。どんな水でも対応できる準備はしておきたい」と話す。(釜井正基 柳原 生)

がむしやらに追いかける  
 と落ちる中盤のラップが落ちない。成長を感じると話す。15歳で2010年バンクーバー五輪に出たシンデレラガルルも、続くソチでは出場符すらつかめなかった。「バンクーバーの時は怖いもの知らずで、ソチも普通にやれば出られると思っていた。五輪にかける思い、必死さが足りなかった」と振り返る。スティックを取り組み、この時の後悔が原動力だ。

転機となったレースがある。15年2月の世界距離別選手権団体追い抜き。強豪オランダを破って金メダルを獲得した。これで世界で戦えるという自信が自分の中に芽生えた。ぼんやりとした見えていなかった世界が視野に入り、闘争心に火がついた。今季はW杯で8度表彰台に立つなど一気に飛躍を遂げた。「自分の最高の力を出し切った時、目の前に『金』があるように。挑戦し続ける」。何となく五輪に出た15歳の時とは違う。積み重ねた手応えがあるからこそ、妥協なく突き進む。(柳原 生) 〓おわり

# 羽生が軸 高難度ジャンプ競う



公式練習で調整する羽生結弦



宇野昌磨いすれも連続ジャンプ撮影

## フィギュア 四大陸選手権 あす開幕

フィギュアスケートの四大選手権は16日、2018年平昌五輪のプレ大会として韓国の江陵アイスアリーナで開幕する。男子は羽生結弦(A.N.A.)を軸に、各選手が高難度ジャンプを次々と跳ぶ激しい優勝争いになりそう。

昨年12月の全日本選手権で優勝した宇野昌磨(中央大)はこの日、フリップ、ループ、トーループの3種類の4回転ジャンプにフリーで挑む考えを明かした。「どんなに調子が悪くてもループを入る」。14日の公式練習では4回転ループを何度も確認。転倒

は、優勝した先の全米選手権でルーツ、フリップ、サルコ、トーループの4種類の4回転に成功。14年ソチ五輪銀メダルでスケエティング技術に秀でたパトリック・チャーン(カナダ)やジャンプ技術の高い金博洋(中国)、全日本2位の田中刑事(倉敷芸術科学大)ら、世界のトップ選手が顔をそろえる。

羽生は、激しく追い上げられていることを「切実な思いでいる状況だからこそ、みんなが限界に挑戦できる」と歓迎。14日の公式練習では4回転ループを何度も確認。転倒

WBC球 大丈夫  
 (ロッテ)侍ジャパンで先発候補の石川が初の打撃投手に登板。昨季首位に球の角中を相手に、事前に球種を教えない真剣勝負で投げた。直球に威力があり、約50球でバットを3本へし折った。「WBCワールド・ベースボール・クラシック」の使用球はもう大丈夫。あとは精度を上げていければ。4年前にWBCを経験した角中は、「振り回して打てる打者にはシンカーは通用すると思う」。〓石川

## あの夏 1958年 徳島商 X 魚津 27

8月17日午後2時3分、相田球審が再試合のプレローボールを投げた。第一球を投じたのは魚津の工一ス村樁ではなく、1年生右腕の森内。十八回を戦い終えた後夜遅く、宿舎の尼宝館(兵庫県尼崎)で宮武監督が主将の盛本に尋ねた。「村樁の様子はどうだ」「かなり疲れているよです。」「宮武監督は浜田部長とも話し合いい、宿舎を出るとき、「1年生でいくよ」と村樁に告げた。体が重く、右腕が張っていたエースは「投げさせて下さい」という勇気がなかったと振り返る。「反発する気がなかったというかな」。森内は序盤をしのいだが、四回

## 142勝左腕 1年7カ月ぶり1軍



キャンプ便り 14日

巨人 沖繩キャンプの初日。一昨年に受けた右股関節手術からの復活を目指して2軍で調整していた杉内が1軍に合流した。キャンプとはいえ約1年7カ月ぶりの1軍に「びりびりした雰囲気の中で練習できて気持ちいい」。ダッスンなどで軽快な動きを披露した。狙うは開幕ローテーション入り。通算142勝左腕は「試合で勝たないと意味がない。ここから勝負」。〓那桐

## スポーツ短信

【カリコ競馬】カリコ競馬の初日。一昨年に受けた右股関節手術からの復活を目指して2軍で調整していた杉内が1軍に合流した。キャンプとはいえ約1年7カ月ぶりの1軍に「びりびりした雰囲気の中で練習できて気持ちいい」。ダッスンなどで軽快な動きを披露した。狙うは開幕ローテーション入り。通算142勝左腕は「試合で勝たないと意味がない。ここから勝負」。〓那桐

明治安田生命とJリーグは、今年もみんなの地元をもっともっと元気にします。

地域から、日本を元気にしたい。

だから私たちは、Jリーグ全54クラブを応援しています。

私たちがJリーグの応援をはじめて以降、レノファ山口FCが2015年に、鹿児島ユナイテッドFCが2016年に、そしてアスクラロ沼津が今年、Jリーグへ。

3年目の今年も、Jリーグと共に地域を盛り上げていきます。

2015年Jリーグ昇格 レノファ山口FC

2016年Jリーグ昇格 鹿児島ユナイテッドFC

2017年Jリーグ昇格 アスクラロ沼津

明治安田生命はタイトルパートナーとして、Jリーグを応援しています。

明治安田生命 J.LEAGUE